

HIV・エイズに関する研修会

エイズ治療の進歩により、HIV感染者が通常の社会生活を送れるようになる一方で、長期療養を必要とするエイズ患者が増えています。慢性疾患のひとつとして、エイズ患者の療養生活を地域で支えるために、医療・保健・福祉関係者の連携が必要となっています。ぜひ多くの関係者の方々の参加をお待ちしています。

1. 日 時 平成29年12月9日（土）
14時00分～15時30分
2. 場 所 橋本市民病院2階 講堂
橋本市小峰台2-8-1 TEL 0736-37-1200
3. 対 象 医療機関、保健・福祉関係業務従事者
4. 講 演
☆中核拠点病院でのHIV感染者の看護
和歌山県立医科大学附属病院 看護師 高木 良 氏
☆和歌山県のエイズの現状
和歌山県立医科大学医学部血液内科学講座 教授 園木 孝志 氏
5. 申込方法 氏名、所属（職種）、連絡先を記入し、FAXにて下記
までお申し込みください。締め切り12/6(水)
6. 申込・問合先 和歌山県庁 健康推進課 感染症対策班
<TEL>073-441-2657 <FAX>073-428-2325

この研修会は下記研究事業の協力により実施しています。
厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」
分担研究「近畿ブロックのHIV医療体制整備」
研究分担者 白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター）
研究協力者 園木孝志（和歌山県立医科大学附属病院）